

特集 学生の研究活動報告－国内学会大会・国際会議参加記 31

ASEAN グローバルプログラム に参加して

磯部 大輔

Daisuke ISOBE

環境ソリューション工学科 2年

1. はじめに

2019年8月27日～9月5日までベトナムの首都ハノイとシンガポールにて ASEAN グローバルプログラムに参加した。ベトナムでは日系企業や現地企業の訪問、ハノイ工業大学の学生との PBL を行なった。シンガポールでは南洋理工大学の研究室の見学、Google 訪問、ビジネスパーソンの方たちとの交流を行った。プログラムの日程は表1にまとめた。

表1 プログラムの日程

8月27日(火)	ハノイ(ベトナム)着 オリエンテーション
8月28日(水)	栄光堂ベトナム社および RikkeiSoft 社を 訪問
8月29日(木)	ハノイ工業大学学生との PBL
8月30日(金)	PBL (2回の発表)
8月31日(土)	ハノイ観光
9月1日(日)	シンガポール着, WASABI 講演会
9月2日(月)	南洋理工大学でのプログラム (授業参加, 研究室見学など)
9月3日(火)	Google 社訪問, ビジネスパーソンとの 交流会, 加藤氏講演会
9月4日(水)	シンガポール観光
9月5日(木)	帰国

2. 参加目的

今回、私が ASEAN グローバルプログラムに参加した目的は、3つあった。1つ目は自分の英語力の上達の機会にするためである。私は今年の2月に、龍谷大学の海外研修でハワイに行った。その時自分の英語力のなさに気付かされたため、英語のみで交

流や作業をせねばならない今回のプログラムの環境に魅力を感じた。2つ目はコストメリットで、10日間のプログラムで多くの経験が得られるにも関わらず、自分には高価でないと感じた魅力であった。最後はプログラムの内容であり、2年生の時期に Google 社やシンガポールで働いている社会経験豊富な人たちの話がたくさん聞けることは、3年以上の専門に関する学修や就職活動に役立つと考えたからである。

3. 研修内容

3.1 Google 社訪問

この10日間で様々な企業を見学できたり、現地の方を含めた社会人から話を聞かせて頂けたが、ここでは特に、シンガポールでの Google オフィスの見学と講演について報告する。

Google 社の訪問では、シンガポール Google に勤めている日本人の方にお話を聞くことができた。私はお話の中でも特に2つのことが気になった。Google 社は、検索エンジンに分類できるサービスにおいて、1位の Google と2位の YouTube を保有している IT、インターネット分野ではトップレベルの会社である。すごい会社であることは、講演にかかわらず知っていたが、そんな Google 社ですら苦手分野があることに驚いた。それは中国で Google が使えないこととのことで、チャレンジはしたものの2010年に敗北したとのことだった。このよ



写真1 Google 社のロビーでの集合写真



写真2 NTU での実際の授業に参加した時の様子



写真3 NTU のある研究室見学での集合写真

うな大手企業にも長年クリアできない問題があることに驚いた。もう1つは、講演者のキャリアの話で、楽天社から Google 社に転職されたとのことであったが、その際、先輩にあたる人に相談し、もともと転職をするつもりはなかったが最終的には自分に必要な場所は Google 社だということに気づけ、転職したとおっしゃっていた。このお話を聞き、3年生になりインターンシップなど就職活動が始まる時期なので、最初から自分に垣根を作らず、色々な人の話を聞いて進路を決めるべきだと理解した。

3.2 南洋理工大学でのプログラム

シンガポールの理工系大学 (NTU) では最も規模の大きな南洋理工大学での見学についても報告する。

写真2は航空機の翼への力の加わり方についての力学の授業に加わった時の風景である。授業が始まった時は、全て英語での講義だったのでなかなか理解できなかったが、聞いているうちにどのような内容かが、少し分かるようになっていった。このよう

に講義でネイティブな英語をリスニングすると、思いのほか英語の上達に繋がると感じ、今後、是非そのような機会を増やしたいと決心した。

4. おわりに

私は今回のプログラムで、日本がシンガポールやベトナムから、教育や会社での働き方などで見習えることがたくさんあると感じた。一緒に PBL を行ったハノイ工業大学の学生は、皆、流暢に英語を喋り、言語に関しては3つ目まで勉強している人がほとんどであった。また、今回は詳しく報告できなかったが、ベトナムの IT 企業である Rikkei Soft 社への訪問では、代表取締役自身が社員の働きやすさを考えて働いていらっしゃったのがとても印象的で魅力を感じた。今まで日本での就職が当たり前だと思っていたのが180°変わって、海外での就職も視野に入れることができるようになり、とても有意義なプログラムであった。